

令和元年度 施策評価シート

1. 基本情報

基本目標	4	便利で活力と賑わいにあふれるまちづくり	担当部	建設部
基本施策	1	計画的な都市整備の推進		
単位施策名称	3	住環境の向上		
	施策の方向性	●ゆとりある住まいづくり、安心して暮らせる住まいづくり、快適に暮らせる住まいづくりを実感できる住まいづくりを実現するため、住宅施策を推進します。 ●公営住宅を適切に配置することにより、住宅困窮者の住みよい環境づくりを進めます。		

2. 施策目標（施策指標）

No.	目標指標	単位	区分	計画策定時の状況	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	中期目標(R2)
1	住宅の用に供する建築物着工件数(改築を含む)	件	目標値		192	196	201	205	210
			実績値	187	188	169	201	168	
			達成状況		未達成	未達成	達成	未達成	
2			目標値						
			実績値						
			達成状況						
3			目標値						
			実績値						
			達成状況						
4			目標値						
			実績値						
			達成状況						

3. 評価と対応方針（部長評価）

・分析	
(施策目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等) 民間建築物の着工件数が伸び悩み、目標としていた着工件数に満たず、目標値未達成です。	
・評価及び対応方針	
住環境の向上に向けた住宅施策を実施し、目標の達成を目指します。	
作成担当部長	建設部長 井上 貴文

【参考】施策の推進に要したコスト

(単位:千円)

区分		No.	事業名称	事業費
施策の成果を 押し上げる 事業	事務 事業 計画	1	住環境改善事業	1, 464
		2	土砂災害等対策事業	0
		3	急傾斜地崩壊対策事業	105, 360
		4	青崎東町営住宅長寿命化改修	10, 626
		5		
		6		
		7		
		8		
		9		
		10		
		11		
		12		
		13		
		14		
		15		
		16		
		17		
		18		
		19		
		20		
施策の成果を 維持する事業	財政 計画	1	住宅一般事務事業	642
		2	町営住宅維持管理事業	4, 920
		3		
		4		
		5		
		6		
		7		
		8		
		9		
		10		
		11		
		12		
		13		
		14		
		15		
		16		
		17		
		18		
		19		
		20		
合計				123, 012

令和元年度 事務事業評価シート（評価）

1. 基本情報

事務事業の名称	住環境改善事業	事業番号	413101
担当部署名	建設部	建築課	
政策体系			
基本目標	4 便利で活力と賑わいにあふれるまちづくり		
基本施策	1 計画的な都市整備の推進		
単位施策	3 住環境の向上		

2. 事業概要

良好な居住環境の形成を図るため、木造住宅の耐震診断・改修やリフォームを行う費用の一部を補助します。また、倒壊の危険性が高いブロック塀の撤去費用の一部を補助します。

3. 活動計画・活動実績

活動計画	活動実績
- 旧耐震基準により建築された木造戸建て住宅の耐震診断費用の一部を補助します。（補助件数5件） - 旧耐震基準により建築された木造戸建て住宅の耐震改修工事費用の一部を補助します。（補助件数1件） - 子育て世帯が子どもの生活環境改善のために居住する戸建て住宅のリフォーム工事を行う場合に、費用の一部を補助します。（補助件数5件） - 不特定多数の人が利用する道路に面した倒壊の危険性が高いブロック塀の撤去費用の一部を補助します。（補助件数5件）	- 木造住宅耐震診断補助事業について、補助金の交付を2件行いました。 - 木造住宅耐震改修工事補助事業について、補助執行はありませんでした。 - 子育てあんしん住宅リフォーム支援事業について、補助金の交付を2件行いました。 - 民間ブロック塀等撤去費用補助事業について、補助金の交付を3件行いました。

4. 事業目標（事業指標）

No.	指標名称	単位	区分	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
①	府中町住宅マスタープランの策定	%	目標値	100	-	-	-	-
			実績値	100	-	-	-	
			達成状況	達成	-	-	-	
②	府中町耐震改修促進計画の策定	%	目標値	100	-	-	-	-
			実績値	100	-	-	-	
			達成状況	達成	-	-	-	
③	実施計画期間中の事業進捗率 (事業費ベース)	%	目標値	1.3	26.0	51.0	75.0	100.0
			実績値	0.9	4.0	22.9	53.8	
			達成状況	未達成	未達成	未達成	未達成	
④			目標値					
			実績値					
			達成状況					
指標の設定方法		①②計画策定が目的のため、計画の策定を指標としました。③事業全体の進捗状況を把握するため、事業進捗率を指標としました。						

5. コスト情報

（単位：千円）

区分	事業費合計	財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
当初予算	2,839	1,300	0	0	0	1,539
決算	1,464	681	0	0	0	783

6. 評価と対応方針（課長評価）

・ 分析

(事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等)

耐震改修については、目標を上回る2件の補助件数を達成しました。しかし、その他の子育て世帯向け住宅リフォームや民間ブロック塀撤去等の補助については、町内会や業者へ広く広報を行ったものの、目標値未達成となりました。

・ 評価

事業効果	高	事業改善	高	今後の方向性	手法改善
------	---	------	---	--------	------

・ 評価を踏まえた対応方針

子育て世帯向け住宅リフォーム補助では町内業者が施工することが要件となっていました。町内のリフォーム業者数が少ないことが申請件数に影響していたため、町外業者が施工する場合も補助の対象とします。また、民間ブロック塀撤去等の補助については、撤去後のフェンス等設置費用も補助の対象とするよう制度の一部見直しを行い、制度利用の促進を図ります。

作成担当課長

建築課長 川口 正幸

7. 評価と対応方針（部長評価）

・ 分析

(事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等)

安心・安全なまちづくりを推進するための住宅支援事業として、個人住宅の生活環境に合わせた改修メニューを創設しました。これまで実績は着実に伸びてはいるものの、生活環境の変化に伴う制度の見直しが必要なサイクルに入っています。

・ 評価

事業効果	高	事業改善	高	今後の方向性	手法改善
------	---	------	---	--------	------

・ 評価を踏まえた対応方針

近年の自然災害等を踏まえ住宅付帯施設の改修を含め、制度の見直しを行います。

作成担当部長

建設部長 井上 貴文

令和元年度 事務事業評価シート（評価）

1. 基本情報

事務事業の名称	土砂災害等対策事業	事業番号	413102
担当部署名	建設部	建築課	
政策体系			
基本目標	4 便利で活力と賑わいにあふれるまちづくり		
基本施策	1 計画的な都市整備の推進		
単位施策	3 住環境の向上		

2. 事業概要

土砂災害から生命財産を守るため、住宅改修等を行う費用の一部を補助します。

3. 活動計画・活動実績

活動計画	活動実績
○ 土砂災害特別警戒区域内にある戸建て住宅について、土砂災害対策改修工事の費用の一部を補助します。（補助件数1件） ○ 土砂災害特別警戒区域等の危険な区域にある戸建て住宅の除却や移転を行う費用の一部を補助します。（補助件数1件）	○ 建築物土砂災害対策改修促進事業及びがけ地近接等危険住宅移転事業について広報やホームページを活用して周知を行い、対象地域の住民等から制度に関する相談を受け付けました。（補助申請件数0件）

4. 事業目標（事業指標）

No.	指標名称	単位	区分	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
①	補助件数	件	目標値	-	2	2	2	2
			実績値	-	0	0	0	
			達成状況	-	未達成	未達成	未達成	
②			目標値					
			実績値					
			達成状況					
③			目標値					
			実績値					
			達成状況					
④			目標値					
			実績値					
			達成状況					
指標の設定方法		レッドゾーン指定地区の住宅所有者の安全確保を促すため、補助件数を指標としました。						

5. コスト情報

（単位：千円）

区分	事業費合計	財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
当初予算	5,884	2,941	1,470	0	0	1,473
決算	0	0	0	0	0	0

6. 評価と対応方針（課長評価）

・ 分析

(事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等)

制度に関する相談は2件ありましたが、土砂災害特別警戒区域外へ移転し、従前の住宅を除却した後の土地に住宅が建築できず、場所的に駐車場としての活用も難しいこと、また工事費が多額になることから申請には至りませんでした。

・ 評価

事業効果	高	事業改善	低	今後の方向性	事業継続
------	---	------	---	--------	------

・ 評価を踏まえた対応方針

土砂災害特別警戒区域内に居住する住民の安全を守ることを目的とした事業であるため、継続して実施していく必要があります。しかしながら、実績はいまだ0件であることを踏まえ、令和2年度以降当初予算には事業費を計上しないものの、近隣市町の動向を参考にするなど、制度利用の促進に向けて引き続き事業展開に取り組めます。

作成担当課長

建築課長 川口 正幸

7. 評価と対応方針（部長評価）

・ 分析

(事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等)

周辺居住環境の把握し、保有財産の安全度への意識の向上は図れていますが、防災工事として行う工事に多額の費用が必要となり制度の活用に至っていません。

・ 評価

事業効果	高	事業改善	低	今後の方向性	事業継続
------	---	------	---	--------	------

・ 評価を踏まえた対応方針

土砂災害特別警戒区域内に居住する住民の安全を守るため、令和2年度以降当初予算には事業費を計上しないものの、事業を継続して実施する必要があります。引き続き、補助制度利用の向上に取り組めます。

作成担当部長

建設部長 井上 貴文

令和元年度 事務事業評価シート（評価）

1. 基本情報

事務事業の名称	急傾斜地崩壊対策事業	事業番号	413103
担当部署名	建設部	都市整備課	
政策体系			
基本目標	4 便利で活力と賑わいにあふれるまちづくり		
基本施策	1 計画的な都市整備の推進		
単位施策	3 住環境の向上		

2. 事業概要

広島県傾斜地崩壊対策事業により、宮の町三丁目地区の急傾斜地に対する崩落対策工事を平成30年度からの継続工事として実施します。
--

3. 活動計画・活動実績

活動計画	活動実績
○ 土砂災害から人命・財産を守るため、法面崩壊対策工事を行います。 ・宮の町三丁目地区 1か所 ・柳ヶ丘地区（災害復旧） ・浜田四丁目地区（災害復旧） ・八幡四丁目地区（災害復旧）	○ 急傾斜地崩壊対策工事を行いました。 ・柳ヶ丘地区（災害復旧） 1か所 ・浜田四丁目地区（災害復旧） 1か所 ・八幡四丁目地区（災害復旧） 1か所 ※災害復旧事業は事業目標には計上しません。

4. 事業目標（事業指標）

No.	指標名称	単位	区分	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
①	急傾斜地崩壊対策箇所（累計）	箇所	目標値	-	1	1	1	1
			実績値	-	0	0	0	
			達成状況	-	未達成	未達成	未達成	
②			目標値					
			実績値					
			達成状況					
③			目標値					
			実績値					
			達成状況					
④			目標値					
			実績値					
			達成状況					
指標の設定方法		住民合意のもと行う事業のため、想定箇所数を指標としました。						

5. コスト情報

（単位：千円）

区分	事業費合計	財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
当初予算	132,258	32,672	43,486	43,400	12,613	87
決算	105,360	0	56,231	38,457	10,672	0

6. 評価と対応方針（課長評価）

・ 分析

(事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等)

宮の町三丁目地区について、広島県急傾斜地崩壊対策事業により、県支出金・受益者分担金を活用し、急傾斜地崩壊対策工事を行いました。平成30年度からの継続工事で全体工事が完了していないため、事業目標は未達成となっています。(平成30年7月豪雨災害による災害復旧事業として実施した町内3箇所の急傾斜地崩壊対策工事は、計画的に実施する事業とは異なるため、事業目標からは除外しています。)

・ 評価

事業効果	高	事業改善	低	今後の方向性	事業継続
------	---	------	---	--------	------

・ 評価を踏まえた対応方針

宮の町三丁目地区の急傾斜地崩壊対策工事は、令和2年度に完了する予定です。なお、平成30年7月豪雨災害に伴う災害復旧事業として実施した急傾斜地崩壊対策工事3件は完了しています。

作成担当課長

都市整備課 磯亀 智

7. 評価と対応方針（部長評価）

・ 分析

(事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等)

広島県急傾斜地崩壊対策事業により、継続して事業を進めている宮の町三丁目地区については、平成30年度から3箇年の工事計画を立てており、計画どおり事業は進んでいます。全体工事は令和2年度に完了する予定であるため、事業目標は未達成となっています。

・ 評価

事業効果	高	事業改善	低	今後の方向性	事業継続
------	---	------	---	--------	------

・ 評価を踏まえた対応方針

急傾斜地崩壊対策事業は、がけ崩れによる災害から人命や財産を守るため、急傾斜地崩壊危険箇所において対策工事を実施するものです。急傾斜地崩壊対策の相談や問い合わせに対し、広島県急傾斜地崩壊対策事業について説明を行い、諸条件を満たすものに対して広島県と連携して事業を進めます。

作成担当部長

建設部長 井上 貴文

令和元年度 事務事業評価シート（評価）

1. 基本情報

事務事業の名称	青崎東町営住宅長寿命化改修	事業番号	413106
担当部署名	建設部	建築課	
政策体系			
基本目標	4 便利で活力と賑わいにあふれるまちづくり		
基本施策	1 計画的な都市整備の推進		
単位施策	3 住環境の向上		

2. 事業概要

町営住宅長寿命化計画に基づき、青崎東町営住宅1号棟及び2号棟の屋上防水改修工事を行います。

3. 活動計画・活動実績

活動計画	活動実績
○ 町営住宅の住宅性能を維持し、長期的な活用を図るため、町営住宅長寿命化計画に基づき、町営青崎東住宅1号棟及び2号棟の屋上防水改修工事を行います。	○ 町営住宅長寿命化計画に基づき、町営青崎東住宅1号棟及び2号棟の屋上防水改修工事を行いました。

4. 事業目標（事業指標）

No.	指標名称	単位	区分	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
①	事業進捗率(事業費ベース)	%	目標値	80.0	80.0	80.0	100.0	－
			実績値	－	－	－	100.0	
			達成状況	－	－	－	達成	
②			目標値					
			実績値					
			達成状況					
③			目標値					
			実績値					
			達成状況					
④			目標値					
			実績値					
			達成状況					
指標の設定方法		長寿命化計画に基づく予防保全を行うため進捗率を指標としました。						

5. コスト情報

（単位：千円）

区分	事業費合計	財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
当初予算	12,564	5,653	0	6,900	11	0
決算	10,626	4,781	0	5,845	0	0

6. 評価と対応方針（課長評価）

・分析

（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）

当初の予定どおり町営住宅青崎東住宅1号棟及び2号棟の屋上防水改修工事を完了し、目標を達成しました。

・評価

事業効果	高	事業改善	低	今後の方向性	事業完了
------	---	------	---	--------	------

・評価を踏まえた対応方針

引き続き町営住宅の居住性・安全性の維持・向上のため、定期的な点検・修繕に取り組みます。

作成担当課長

建築課長 川口 正幸

7. 評価と対応方針（部長評価）

・分析

（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）

町営住宅長寿命化計画に基づく予防保全事業のうち、青崎東住宅の屋上防水改修を完了しました。

・評価

事業効果	高	事業改善	低	今後の方向性	事業完了
------	---	------	---	--------	------

・評価を踏まえた対応方針

住んでよかった、住み続けたいと感じられるまちづくりを進め、住宅施策において、町営住宅の計画的な維持保全に努めます。

作成担当部長

建設部長 井上 貴文